

第35回ケアキュアカンファレンス

(令和元年度 第1回認知症研修会事例検討会及び情報交換会)

令和元年 9月10日(火) 18:00~19:30 見立病院 作業療法室にて、
ケアキュアカンファレンスを開催させていただきました。

今回は、認知症医療センター センター長である梅野一男より「認知症の薬物治療」
についてお話をさせていただきました。



心理・行動症状（BPSD）は認知症の中期の段階で出現しやすいと言われていますが、不安や抑うつは、初期の段階から認められることやもの盗られ妄想は、ほぼ女性に局限していることなど現場レベルでの話の内容であったと思います。薬物療法においては、現在の治療とBPSDに対する薬の限界や今後の治療法などを話し、不安薬やうつ薬・漢方薬の併用など現在、病院で行われている薬物療法を理解していただけたのではないかと感じています。



今回は、事前に質問内容をいただき、講義の中でお答えできるような内容にいたしました。皆様のお役に立てるような内容を企画していきたいと考えております。

ご参加ありがとうございました。